

# ふれる感じる考えるこども図書館

～ 絵本と出会い多様な在り方にふれる ～

～ プロジェクトレポート ～



学校法人 福島学院

福島学院大学認定こども園

# 令和7年度事業内容

## ① 日々の読書や読み聞かせによる**絵本に親しむ機会**拡充

－ 教育・保育時間での利用時間の工夫と多様な絵本の蔵書増加に努める －

## ② 絵本を通し**豊かな感性や身体表現力の基礎**育成

－ 絵本から発想を広げた作品展・発表会の取り組み継続 －

## ③ 障害や様々な文化について**実感を伴う活動**の実施

－ 絵本の物語・昔ばなしにちなんだ給食メニューの提供やゲストスピーカー招聘イベント実施 －

## ④ 地域子育て支援**拠点**、他学校・施設との**連携**

－ 地域交流・子育て支援イベント・学生による読み聞かせの機会充実等積極的な活動継続 －

# 令和7年度こども図書館利用実績

## 年度利用のべ人数

2,267人

繰り返し定期的にこども図書館を利用する親子が多く、兄弟姉妹での利用や地域にお住まいのご家族もいらっしゃる等、こども図書館が広く利用されています。

## 年度総貸出冊数

4,534冊

蔵書数の増加により、こども図書館自体が充実した施設となってきた。年間数回の新刊導入時には特に多くの来館者があります。

## 月間利用数最高記録

518人

夏休み・冬休み前の貸出しが増えることは例年通りではありますが、「絵本」を題材にして取り組む本園の作品展・発表会前には題材となった絵本を借りる家庭も多く、結果として夏から秋にかけての利用者が多いです。

# 絵本から広がる活動

## 製作活動・作品展・発表会



### 製作活動

水辺や身近に生息する生き物や、水族館おなじみの動物まで間近で観察をしてきました。



### 作品展

絵本を題材にして各クラス、子どもたちが豊かな発想の中で製作した作品が園内のホールに所狭しと並びます。「もしもこうだったらおもしろい」という視点が追加されているクラスなど、個性が光る展示となっています。



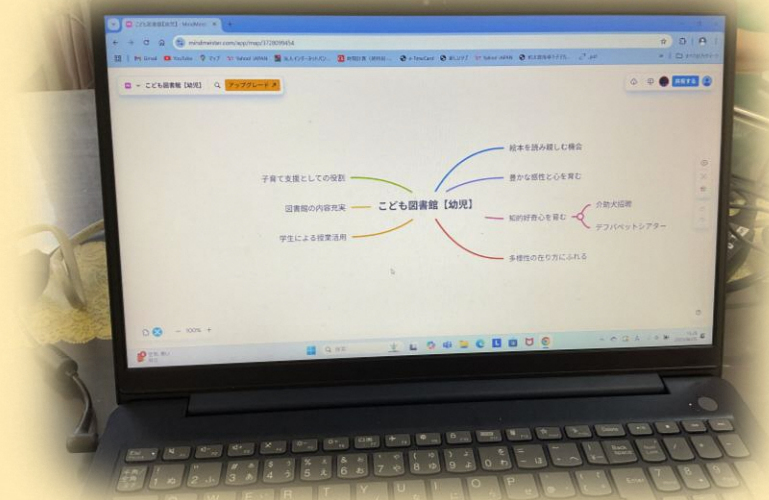
### 発表会

絵本の場面を思い返したり、自分なりに試してみたり、友達と協力したりと活動の幅がどんどん広がっています。

# こども図書館の効果検証・方向性の検討

絵本をたくさん並べるだけでなく、こども図書館の利用者に向けて「どう使ってもらえるか」を考える。

～教育・保育のプロ同士で「絵本」について考える～



# こども図書館利用者の声

次年度への運営に活かす為に利用者アンケートを実施いたしました



## ～全年齢が絵本に触れられる～

こども図書館の絵本は表紙が見えるように並んでいるため、文字が読めない子でも絵を見て選ぶことが出来るので、とても良いと思います。



## ～借りた本を読み聞かせに～

こども図書館で借りた絵本を利用して、寝る前の読み聞かせが習慣化しました。親子で共通の話題ができ、スキンシップ(抱っこしながら)の貴重な時間となっています。



## ～図書館に行くことが楽しみ～

こども図書館に行くたびに、絵本の配置が少し変わっていて新鮮な気持ちになります。また、季節に合わせた工夫があるため、季節感が感じられやすく大人も楽しめます。

## ～成長を実感できる～

子どもとの何気ない会話の中で、知っている言葉が増え、絵本の中に出てきた表現等で気持ちを言い表すことが出来るようになったと思います。成長を実感しています。

## ～立ち寄り易い図書館～

こども園のお迎えに行った帰りに気軽に立ち寄れるのがとても良いです。施設が清潔で開放感があり居心地が良いので、年間かなりの回数を利用していると思います。

## ～文字や言葉の獲得～

絵本を自分で読めるようになりました。先生の真似をして、家族に読み聞かせをしてくれるようになり、こども図書館で絵本を借りた日の夕食後が家族みんなのお楽しみの時間になりました。

